



# く・く・る

— 介護サービスの質の向上をめざして —

発行日 平成27年3月20日

発行責任者 一般社団法人市民介護相談員なは

連絡先 那覇市銘苅2-3-1

なは市民協働プラザ3階

090-4470-7843

URL <http://simin.ti-da.net/>

E-mail: [siminkaigo@gmail.com](mailto:siminkaigo@gmail.com)



## 「パーソン・センタード・ケアについて学ぶ1日集中講座」

パーソン・センタード・ケアは、現在世界的に認知症ケアの主流となっていますが、日頃県内ではなかなか学ぶ機会に恵まれない現状があります。そこで、当法人では、東京からパーソン・センタード・ケアとDCM（認知症ケアマッピング）の上級トレーナーの村田康子氏（NPO法人その人を中心とする認知症ケアを考える会理事長）と、現場の実践者として活躍されている松永美根子氏（熊本県介護老人保健施設孔子の里副理事長）をお招きして、県総合福祉センターで集中講座を開催しました。

午前中は村田氏による「パーソン・センタード・ケアとDCM～現場に活かすために～」と題して、パーソン・センタード・ケアとDCMの理論をロールプレイも交えながら、分かりやすく解説して頂きました。午後は松永氏による認知症の疾患別の特性を理解し、パーソン・センタード・ケアの視点からケアを考える「原因疾患別認知症ケア」について、食事や徘徊の事例を上げながら講義がなされました。孔子の里の取組みも紹介され、受講生からは「そこで働きたい」という声も聞かれました。

今回の研修では欠席者も殆ど無く、1日研修という長時間に渡るものでしたが、参加した約100名の方々からは、「パーソン・センタード・ケアについて学んで、利用者の視点で考えることの大切さが分かった」、「今までの自分のケアについて反省させられた」、「現場に持ち帰って、実践に少しでも役立てたい」等、「市民介護相談員なはの企画する研修はいつも素晴らしい」という、主催者冥利に尽きる声もあり、今後の研修企画について、大きな自信を得る事ができました。がんばりますので、ご期待ください。



## 九州・沖縄地区マッパーフォローアップ研修

昨年7月にマッパー（DCMの有資格者）の全国組織であるJ-P-Dネットワークが設立され、その九州・沖縄地区のマッパーのフォローアップ研修が、2月15日、ヒルトップ天久会議室で開催されました。

東京からは上級トレーナーの村田康子氏をスーパーバイザーとして、県内マッパーや、東京や熊本、福岡からも来県していただき、計13名と小規模ながらも、事例検討を中心に活発な意見交換がなされました。

今回の事例は、昨年未だに基礎ユーザーを取得し、1月に初めてのグループホームでのDCMに挑戦したマッパーの報告で、ロールプレイも交えたことで、参加者からの反応も良く、具体的な事例検討になりました。

マッパーの資格は取得したものの、DCMの実践に結び付ける事の難しさやマッパー同士の連携不足等、県内は元より、全国的にも課題となっていることも取り上げられ、今後の取組みが期待されました。



## ちゃーがんじゅう課との情報交換会

恒例の市民介護相談員なはとちゃーがんじゅう課との情報交換会が、3月18日庁舎会議室で開催され、当法人からは正副代表理事を始めとする理事6人、課からは課長、副参事、包括支援グループ、施設グループ等から6名が揃い、2時間に渡る活発な意見交換が行われました。活動の現況が報告された後、課題として年々深刻化する人手不足から介護サービスの質の低下が懸念されることが上げられ、次年度は介護報酬改定に伴う現場の混乱も考えられる中、介護サービスの質の向上のために、両者間の密な連携の必要性が再確認されました。



## 念願の事務所開所！ 新住所：〒900-0004 那覇市銘苅2-3-1 なは市民協働プラザ3階

3月19日に念願の新事務所に引っ越しました。市民と那覇市の協働の拠点として開設された“なは市民協働プラザ”（旧銘苅庁舎）3階に、入居14団体の一つとして素敵な事務所を構えることになり、メンバー一同喜びも一入です。

入居前には、14団体が4回に渡って集う「協働による那覇のまちづくりのための連携講座」が開催され、当法人からも複数のメンバーが参加して、他団体とのネットワークを築く等、今後の新たな協働の息吹も感じられました。

平成18年度の発起以来、車の荷台に様々な資料を詰めて移動したり、NPO支援センターのブース真和志支所ボランティアサロンに机を置かせて貰う等、活動拠点を求めて長年努力してきた事が報われた感があります。

これからは更に、介護事業所や現場のスタッフ、そして市民のみなさまに向けて、様々な情報を発信すると共に、気軽に訪ねて頂ける場所にできるよう、最大限に活用して行きたいと思っています。



## 市民介護相談員なは 宣言

- 私たちは介護サービス利用者の立場に立ちつつ、利用者とサービス提供事業者との橋渡しを行います。
- 私たちは苦情にいたる事態を未然に防止するために、利用者の不安や不満、疑問などに、きめ細かに対応し、改善の途を探り、問題提起、提案解決型により、利用者の権利擁護を手助けします。
- 私たちは市民の目線を大切に、さまざまなネットワークを編み出して、豊かな地域づくりに貢献します。

### 平成 26 年度(10～12 月期)相談内容集計状況

相談の種類	不 満	心 配	満 足	要 望	他	※ PE	※ PD	計
職員の対応	27	3	15	4	0	20	45	114
施設環境	12	1	12	3	0	10	29	67
施設設備他	7	1	5	7	2	6	28	56
家族との 人間関係	8	6	5	5	4	3	0	31
利用者同士 の関係	5	7	12	1	4	10	1	40
食事おやつ	14	0	22	7	2	5	10	60
排泄等	7	1	0	2	0	1	9	20
清潔等	6	1	5	11	0	7	22	52
医療健康等	10	12	7	10	1	1	2	43
リハビリ等	7	0	13	12	0	2	2	36
レク・余暇活 動	26	1	40	15	3	21	13	119
介護認定等	1	3	0	0	0	0	0	4
介護保険料 利用料等	1	1	0	2	0	0	0	4
※身体拘束	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	5	7	10	6	2	0	2	32
合計	136	44	146	85	18	86	164	679

※PE：相談員の“気づき”で比較的良好なケアを表しています。

※PD：相談員の“気づき”で気になったケアを表しています。

### 編集後記 ～今年度を振り返って

2014年1月から今月迄、高齢者の虐待防止と尊厳あるケアを実現するためにシンポジウムやセミナー、介護に関わる現場の職員や学生に向けての研修等、様々な取り組みをした年だったと思います。そして、2月にはテーマの集大成として、当法人の活動の基盤をなす“パーソン・センタード・ケアと DCM”の集中講座も開催する事ができました。“パーソン・センタード・ケア”の“パーソン”とは利用者だけでなく、周りの全ての人、当然スタッフも含まれます。スタッフ自身が、組織の中の大切な一員として認められ、尊重されているという実感を持ってこそ、創造性と創造力を発揮した認知症ケアの実践に繋がります。

次年度の介護報酬改定では、2006年改定以来、9年ぶりのマイナス改定となる一方、介護職員処遇改善加算の拡充や中等度者や認知症高齢者への良好なサービス提供に対して加算される等の方針が示されました。今回の改定が今後現場にどのような影響を与えるのか、注意深く見ていきたいと思ひます。(仲本)

### <活動報告(2014. 12. 21～2015. 3. 20)>

- ☆広報紙No.34・35 合併号発行、配布(12/26)
- ☆タイムス住宅新聞から取材(1/7)
- ☆理事会(1/10)
- ☆GH さわふじ DCM(1/14、15)
- ☆那覇市高齢者部会(1/26)
- ☆協働による那覇のまちづくりのための連携講座(2/1、8)
- ☆九州・沖縄地区マッパーフォローアップ研修(2/15)
- ☆パーソン・センタード・ケアについて学ぶ講座(2/16)
- ☆沖縄福祉保育専門学校研修(2/19)
- ☆県福祉サービス運営適正化委員会(2/19)
- ☆はあとあいらんど豊崎見学会(2/20)
- ☆認知症を治す研究会 in 沖縄(2/21)
- ☆福祉政策課へ補助金実績報告書提出(2/26)
- ☆那覇市地域包括支援センター運営協議会(3/10)
- ☆ちゃーがんじゅう課と除法交換会(3・18)
- ☆新事務所へ引っ越し(3/19)
- ☆なは市民協働プラザ開所式(3/29)



### <今後の予定>

- ☆平成 26 年度実績報告会(4 月: 受入事業所別)
- ☆介護相談員と受入事業所との情報交換会

日時: 2015 年 5 月 15 日(金) 10:00～14:30

会場: なは市民協働プラザ(予定)  
内容: 実践報告/ランチ懇親会  
記念講演: 松永美根子氏

今回は事務所の  
開所記念講演も  
予定しています♥

(熊本県介護老人保健施設孔子の里副施設長)

テーマ: 孔子の里の取組み(仮題)

### 賛助会員になりませんか!?

賛助会員になると、主催研修等の先行案内と割引、年 2 回の施設見学会のご案内、年 4 回の広報紙や活動報告書の送付等の特典が付きます。

年会費は 3,000 円。当法人の活動の趣旨に賛同して、共に学び合いたいという志を持つみなさまのご入会をお待ちしています。連絡先: 090-4470-7843

### “はあとあいらんど豊崎”見学!(2/20)

豊見城市の地域密着型特養ホームと有料ホーム、ショートステイを備えた新しい形態の施設で、昨年 9 月に豊先のトミトン向かいに開所。会員、賛助会員の 8 名で見学しました。

